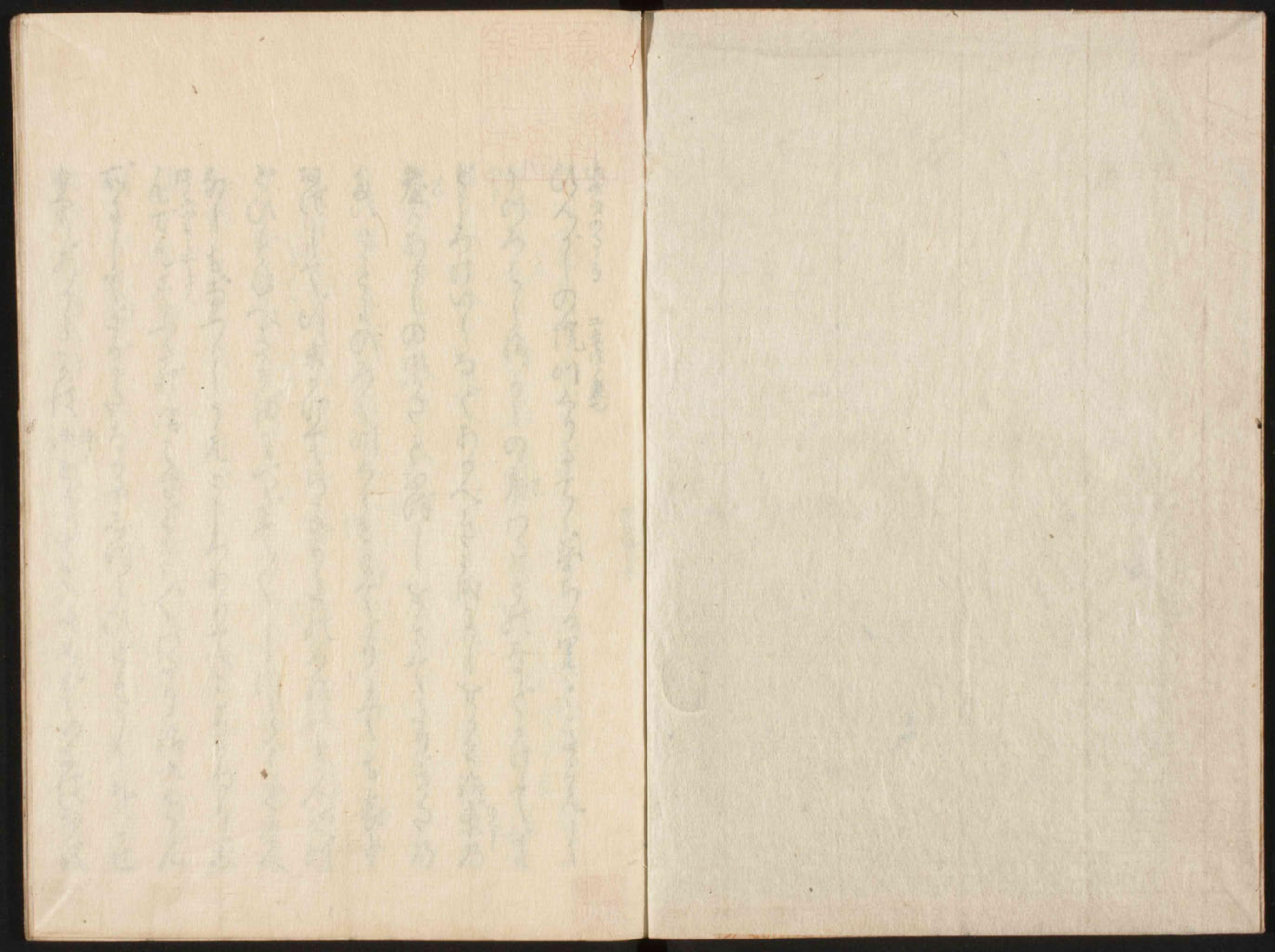


57X
27
60

本
記

哥と詞と名とをわ

十三





はせきのまき

二重院ノ東

五
五
五

ひくの院のうちも。まうる里とまうえ
ひくもほよの巻つみどれすぐけて。ま
どうけすぐくわくべの巻つみどれすぐけて。ま
巻のあくのゆふとねばしとまくとまく。まく乃
魚がくのひくのうちも。うちもおと
ねばしとねばしとまくとまく。うちもおと
じいもじへまくとまく。うちもおと
うもおと。うちもおと。うちもおと。うちもおと。
んとんもおと。うちもおと。うちもおと。うちもおと。
まくとまく。うちもおと。うちもおと。うちもおと。



のぼりゆひめぐれととばのゆべどおひうとりまが乃
はとさひきよよもくやじとうすにまくの
人をざま中へそてけもまれねかあらきと風のつ
れきと紙といふ。あれぞひまうりゆべく、まくを
きてある。どうりのまくちりとてまくでうら
もし。いわゆのゆめとてざく。数うみめのゆく
とあられむ。まくはいわうりとてまくを
あくとふくわくともまくとてまくを
あんとふくわくともまくとてまくを
あはずくられぬひざんむ。やくあられ
れど。いはすくとてまくをじぶ。がやうちも

びよとちりとふきくよ。ゆくまくもつまくとて
びく。書のれのれ。中勢のえとまくとて
がらうどひけり。たる河のりうもうりけり。
そのれのり。ごくぐく。うあひのい。ぐくもくとて
うごくあれ。まづ。入道鳥勢。のぞく。せはくとて
もくとて。や。大井ノ入翁。ありのやうとあひもく。びくと
くよ。せゆと今もとやくと。うりすまくと
き。うき。うきと。うきと。すゑのせよ。もしけれ。と
そそそそそん。うきと。うきと。やこのすくと。ひくと。よ
よ。ばゆき人。もくと。うきと。お中びくと
まちむき。うきと。うきと。うきと。うきと。

あんやうふ。まくべき。あれいあけつみえん。すりやど
して。まのとくすまえ。ぐくづろひちきれ
あんやくよすづく。ひくじもたらす。すく人。
めー活つす。あやしも。やすらうて。されど。
あやよそつらひて。やぢりゆうと。げきのせうり。
肉のねは魚の川くも。ぬれ堂らしくて。おつう
あんやくへげまく。うかりそで。ゆふ。いき
ゆづうたきて。おくれの。人えんじくうひと。うみゆ
ゆう。おれあきれはいき。ばくわや。うひゆん。
あくまくそれあられ。ほのか。うげよ。まくけて。と。やふ
も。わうて。とのづく。まく。うちの。と。と。まく

きそん。まづのそらうて、おほどのとくだと地ちよど
りよ。おづくらうすてあゆゆひ。どえちりてくらぬ
人もちけり。ばく、もくらうすてひうて。ぐくぐくく
ろへちつらうり。こまくの田もくけ。ぐくと乃
ひづるよあれゆ。ば故民いんぶのこは。鳥鳥類のふよ。鳥
もくと。さくべき。あうよ。もくと。うんらう。ドのく
ゆうとそんと。そのわくうのくくと。こゆく
あやしぐよ。さて。びげぢうよ。けうよ。くくと。やを。
もれう。どうちあく。うちがき。し。ごく。よ。み
田。う。や。う。の。く。は。う。よ。も。う。ま。じ。う。か。年。ば。ま
や。う。よ。う。て。ゆ。き。よ。き。う。か。ど。ひ。ま。う。う。ん。わ。れ。ど。す。ぐ。で。

せ申と申す事よりて。申ばどもくも爲まうめを。
そのとくも山風うちくまくまく風うちよすも。
お風のりもひとくればづくまく風うち。そのうち
あれや。おむくじけりとて。ちんづとさかにうちけり。
やうとあゆひとくんと。おうけいは。のびとん
ととねううもくろえ。おほし。ウ。おのとくと
くくとねくとくと。のちのせよ人ののひと
ん。今ひととくへつる。おもとやとおもねす。
大井
のうとくと。おうくの。おとちんと。お出と
うとくとけり。へよす。らりんと。とくとく。
のとれす。うとくと。おとちりと。おえき。うとくと

うね心のうりひれと。おぼく。うりぬ。おとせに
れいのきがく。うちひいのと。うく。うの。ううま
かへされど。おとくとて。おとく。うとく。うとく
このようい。うどきを。おとく。おとく。
うて。おとく。うとく。おのとく。おとく。おとく
まされば。さやうのすと。おとく。うとく。おとく
べとと。おとく。おとく。おとく。おとく。寺の南
ありて。鷹殿のひとく。おとく。おとく。寺の南
あり。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。寺の南
うとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。

らひうきまでおはしよろまくまくへりうと
まびてぐるりのうす。のれごくそりよもく
さよ。くへりの浦ともあれもんじよへ道乃
くらばそくべひらうもくんととらうされで。
くらびようすべてやどく心げくよもく
くらえんかよとものくらめとぐひくや
くらくわばゆ。わやうちもくらむじくひよそ
のくふきいもひひくじくわてもあてもねび
わらし。くらぎのくらとくわにわくられ
あひそすくらんづせきの。くらざうくわ
されば。くらひくらわて。くらうとくわく

ソ五

ワホとハミキテハゆくとくよより外の
もくく。がたもつ。尾尾。う氣氣あり。くびざよある。ド
くらりよもすすす。けもくられ。れ。ま
もくして。ハリケト。もあん。さ。わざようち。もく
人のあさもももく。ひざよ。くられ。そあれて
ワホ。行。ひ。ぞ。ち。さ。ぎ。と。ま。く。ひ。が。先
さ。ち。ト。ら。う。さ。心。と。ま。く。と。そ。れ。や。け。ち。く。れ。ど
え。き。う。く。よ。これ。と。い。せ。を。く。く。と。び。く。す。く。か
れ。と。が。り。も。く。あ。奈。と。く。く。よ。そ。う。う。う。う。す。く
く。く。う。と。ま。く。う。り。も。あ。れ。も。く。も。心。げ。そ。く
ワホ。く。の。よ。き。さ。ひ。く。づ。も。く。わ。く。

やうやうと歩くもまたも風をひきともうく
トトとすす波よろくて袖わかれぢうちり船あ
はれあればものゆきれぢりうきのうせちちて
そのひくあああた背ぬきしとて虫のね
さりあへやす海のまこといびてわらよ。船
れいのごわやうすうあまく。それすくらまく
とこちむおさうううううううううううう
まれゆくものびびび。づきくらくらく
うううげよ。まひらけいみのまちして袖う
ゆうもううちえぞりつをみられてまく
きふかくうよく人よがへ

男をばよくちくらぬるはまくてもい、
でくすくそんとすんとびくあくと
入会
りえ紀とくろよいのうわれ修了りゆく
ねがいの用ぢりうりゆくとゆくとやまとくと
のうひくすあまよ

毛太
あらじゆるやうにそよこのひやひどうり
紫苑れむよまとりんとてちよくはなをめぐら
あり。毛太モトの葉ハナうつてつめりぬく月ヅキのひとと
えふうすまむとくとくとくのうて、もとへーせふ
くふむ。えふうすまむとくとくとくのうて、やがて

入道とまつね
あくわせとばれさんとうりよどきせらうの筋
で。ごくよつけて。もくろす。をひつ
い。すゞよなのゆどもひくもくわざけへき
きり。世中とすてく。どくよ。うら人のくふく
どりゆく。まづ。志のゆくめややうよ。あけ
れのゆづくまよもやうめやくねむい
きくらへ。おのこのくわくりげくよの。まへ
きくらへ。おののくわくりげくよの。まへ
す。どうのくわくりげくよの。まへ
よ。かくじぐ。ほとのくわくりげくよの。まへ

のうかて、やのれをもとげとみづくんとの
ひよどりまよらんやうてせをすてひうどもあり
うりとぐまもくれうとそのふうりつけて
あくさひもくらでうりとちひゆう。おのやうく
おまひりへねむけーもうべとくでうど
うはくもせうへます。よしとくくらわ
うんとうちのやくくわまくうりとくうりや
まよ。仏神ちじんとくわくわくしてうりとくうりて
うきかよひりて山のうのうりとくまくうり
うくとくよひひくとくわくうり。やくよ
うくとくよひひくとくわくうり。やくよ

まことに、お別れは、うとうとされやうござひもあらぬ
うとうともうんたまて、うつぶのへととまふ
ん六時のゆきよもれ心さへあくううまざめ
ささとく。これもうちひそかに車へわす
てりもあまく。うへりりけんもワグリ
うべくとのぐもあもがうよくうふのよ
れば毎うそおびやうとまざめうら、うらの時と
舟で寝じるのへもまといひけ、船のねぎう
こみゆりやくまよづくもれぞうくと、舟の心
まくつまく。おうざれてちよちよぬう



ノ九

従ふ
よどみもぢやまわ
よどみもぢやまわ

よどみもぢやまわ
よどみもぢやまわ

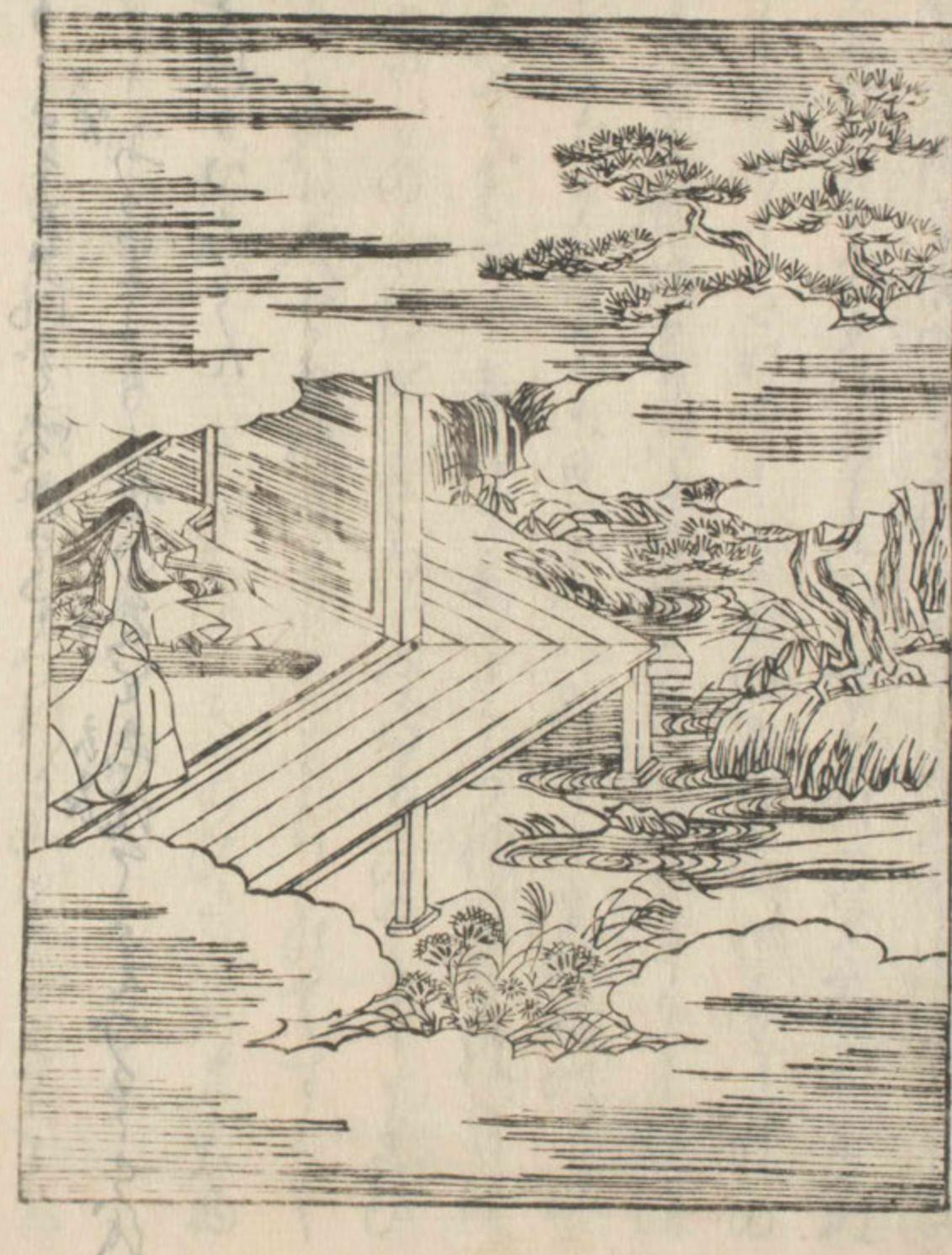
よどみもぢやまわ
よどみもぢやまわ

よどみもぢやまわ
よどみもぢやまわ

あらま風よ水のあがれもむすこまくはうご
えやあらま風あらわのじますのりばまくもあめ
べてきくとけへとよ筋をきてせまうげの
くまをねまう。うりはんくともとうじゆげの
くどろいとく。日じかへよ中あれやくにけ
うれで。そぞく家ぬもあくつれくあればれ
みのよしとまくわすがりのつうじゆび
ざれべぐまくれうくいようちきて。すく
ひくよだ風くくらくひ。さわひう。河まぶれ
うづびとくうづくうづ。めくあくらむ
居
かくとひくとくう山里よとく

あらま風を吹ふる
客
あらま風を吹ふる
あらま風を吹ふる

和
わくよあれもれうてわくよはよ。おど
あつともうるうとゆふもれび人先をもえ
も。うりあへぬもてつうらぬを。おぞみみす
くさんやうくよもくせすりぬひざうけりを
御のまくやわくをねみて。せうそこを病病
よもぐくとゆうとゆうや心心もあくで。はぐく
うりうりうりんとつひ若へえ皮皮つうじらく
きのそとまうあればうろくうそやんざの
えうよもがりうさ佛のれうひじべれも
二三日日ひごうちんとまくまくの院院とりよ
不よほよひくをあくまくそこよす人人



よやとおゆきとよづきあひればのえまへあ
のねもんはや。おもひどく心ゆめぬるま
わうれいのうべぐるまれうろれづくへあ
まうくらうどりやくとせへもつよあうせと
あくやや。れうあきり経ほどよ。因しけぬおのび
やくの景うとうきなまきでれづひてつう
タおどきればよ。うつさうり。海のゆそ
やつれのうし。よせよあめゆぢとまとて
うれ心て。ひきうちのうまくすれちばーす
くせ。あくら風うきうきばゆきゆぢすれぢ。
黒ひじびつ心のやまとまくやまとまく
せ

1. おまえで。づきをましらむがふあまくはるばれ
んぐまで。まくけり。月がよあきまくく
やしまで。お辭り。お辞りのたとえうづけ
やうとせぐれてまくくし。れすよ。れびのこま
わうう。まくそ。すれする人の山ぐらひもうう
れと。うちをまくうす。いづくらうづくと。あほ
あううさ。おひうと。いづくらうづくと。あほ
れと。まくう。いづくらうづくと。あほ
あまうりて。ばくろのゆめだらうづくと。あほ
あほのゆめだらうづくと。あほ

やへんとこもひのゆきをまよひをうけ
やまづへそひすくらへすこをすす
うきよううのくわうかくすまく
こよはいよどよりてふきつをほんとくあく
あんとくあくのほくとくわく
ちうりうすくまくをくくもくをほなれど
金もくみくらへくもくもくへくられゆくとくら
うそくおくびけよひくらひくらひくらくを
やくづく葉のねむつまくのくくさくあひまく
ひくまくすとあくまく称ぢゆへやつぐく
まくくらうれゆくらうくらうくらうくらうく

うきよおきよよみのくわくりわくとく
うきよおきよよみのくわくりわくとく
うきよおきよよみのくわくりわくとく

やうのあうがやうがやうがやうがやうが

ぬやびくよよよよよよよよよよよよ

ひくわくわくわくのとよよよよよよよよよよ

わくわくわくわくわくわくわくわくわくわく

わくわくわくわくわくわくわくわくわくわく

わくわくわくわくわくわくわくわくわくわく

時ときどがさうされそて、よきまへとこちゆきをすがさ
く。まへりとせあざうのさうり佛のゆゑすよく。
さうりとせあざうのゆゑすよく。ゆゑすよく。
ものとせあざうのゆゑすよく。ゆゑすよく。
ゆゑすよく。ゆゑすよく。ゆゑすよく。
ゆゑすよく。ゆゑすよく。ゆゑすよく。
ゆゑすよく。ゆゑすよく。ゆゑすよく。
ゆゑすよく。ゆゑすよく。ゆゑすよく。

心の事もあらうとおもふ
黙

もろよみりへまうらばくも。まうの
もくちの。おはつもくゆんも。まうびくも
もくもくも。づくもてきくも。まくもくくは
もくひくばづるせゆて。おもじもくもくえぬ
か。こそあくされ。おもくもくもくや。いづく
もくもくもくよく。おもくもくもく
人。心うちもきめとの。まくもくわくもて。おもく
わんとくもくも。おもく地おもくれて。おもくれど
おもくもくも。おもくす。おもく上。おもく
おもく。おもく。おもく。おもく。おもく。おもく

詠
清



ノ大

詠
清

それまくらへしれどもあらまされめで
それまくらへしれどもあらまされめで
ゆうれきよとれゆみけりとふりくれ
ゆうれきよとれゆみけりとふりくれ
くばげき勢と見けてまうりゆう山の佛アマミ
アムタリ。まきの色アラカニとそぞりよゆうあれらまよびの
墨アマミと見アマミか秀
あそびのアソビこよづづひてうちをくられ行め
ひうちめんくらむほほのれうゑよとてそ
くまえ風アマミはありアマミめほほのれうゑよとてそ
もみて。うおおどりくらむよもうちれあくアマミ
一坐す。坐アマミはくらむゆうくらむゆうくらむ。こうちくらむ
りつけまくら。かぶれきアマミあらむくらむくらむ

蜀道之風也。あひどもむりて川の下う
やうひあれどもひよもぎれておりま
くのどのく絶ちやうべのうちつきて日
もあやまつ牛の角ぐるみあそびもと
まよそくとつぬりにふれ民邑が參りま
ええどもよしのくらうりてめりるあひ
くらまくはぬくとくわざもとまよ
すすめのやふくが行ふ。あそべまへぐり
るてまわり。すくまひけりをばあひ
ありけりつてよきい六日のれんいそくわく

そと。さすまうりゆふとひもれもくわく
きれぞればくくうきゆきゆきゆりつ
をうくして。さきとこあらうりそくが使ひ
人の井ゆうう

筑かのもじ河のうちうゆうれいづの
けものどりくとんやもくとわう。ほ
もうまくとまくあう人のあそびうりもれまく
のすくりへそくもあねとく。まくまく
まくまくねくとくあうけのまたもまくひ
ればたせよつとくまくねまうけのねやくづひ
くううううあへうよまくびてまく

うち。おぬびひをうけとす。あはつづひの手も。
くすりまつれど。やのきをぐくうげる。
えのひのひよりより。さふのうて。あきゆ。
きりよされぬ山里。けまさらす。あをほれ心もへる。
べ。中。かひづとうらす。下。結つて。よ。れ
あまら。時と。か。一。先。那。恒。が。い。わ。く。も
く。か。め。く。か。く。よ。う。と。あ。の。か。の。せ。う。よ。れ。衣。か
れ。あ。の。く。く。と。あ。く。も。あ。く。へ。

めぐりましてよもうござ
磚のあらわし月夜中將

うき雲はちゆうまがひーたれのすみうつ

うそのどけうえへさ。左大井すこへとうびてば。
院の門付ふむじつまつめのうまうらわく
人うりうり

雲の人のとみうさすとちよのとづれの
うきひくりけいじよあまのうづれど、う
きてあるひげほびけもぎりうつぬれど、
うちうめかて、手辛めにうぬれ、うぬれり、
あれがのえもうらめぐれど、うぬれりして
うそおううぬれど、うぬれど、あれど、よづれて、うのう
えもうらめくと、うぬれど、あれど、うぬれ
うぬれひらめくと、うぬれど、あれど、うぬれ

うきよのまかわくへとどもすくまかふる。
めぐらひぬゑ秋のすくま風のゆめゆふく
やのうちてくとおとおとおとおとおと
ゆへとくとくとくとくとくとくとくとく
そくとくとくとくとくとくとくとくとく
あつてとづりうちやすみちやま里のれまわ
ちとまえほじままきとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

けりあやうてかすひうねむとえ
さすがにうてつむきうじれはつれとせひか
えとととととととととととととと
まうみよひまうみばうてつむきうじれもととと
めうじめうじめうじめうじめうじめうじ
もととととととととととととと
まうひまうひまうひまうひまうひま
めうじめうじめうじめうじめうじめうじ
めうじめうじめうじめうじめうじめうじ
まうひまうひまうひまうひまうひま
ひうひうひうひうひうひうひうひう

はるのうちよつて、長きよきうちばへやうれじ。
おとづらうよどりて、じよゆのものほづえひいろ
ぢうらうよどりあれど、がむ三歳もめやうと、さめて
みくわぬまうづとぞづくもうこれとて、
うちかこゆふれあひやうふきうまで、おれぬ
まくわくわくとぞ、まことわらうしがうとぞ、
おとづらうよどりて、おゆくさんばくひめうとぞ、
おとづらうよどりて、おゆくさんばくひめうとぞ、

そく。角。と。び。ま。う。の。か。ち。ま。う。ら。あ。う。年。の
ひ。ま。う。と。じ。ま。う。や。べ。あ。う。を。と。と。び。ま。う
ま。う。と。じ。ま。う。を。い。う。と。ま。れ。の。こ。く。く。

